

# 琉球大学学術リポジトリ

## [抄録] 砂土改良増産方法の研究

メタデータ	言語: 出版者: 沖縄農業研究会 公開日: 2009-01-29 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 東, 清二 (抄録) , Azuma, Seizi メールアドレス: 所属:
URL	<a href="http://hdl.handle.net/20.500.12000/0002015231">http://hdl.handle.net/20.500.12000/0002015231</a>

### 砂土改良増産方法の研究

(程徳森・萬金森・夏雨人：台湾糖業試験所研究彙報  
42：71～78, 1966)

土壤の生産力はその理化学的性質の如何によることが大きい。一般に砂土は有機質少なく、組成もそしうであるため水分調節が困難であり干害を受け易く、地温の変化はなほだしく、肥料の吸着力も弱く生産性に乏しい。

今回台南省フウサンにおいて濾泥 (Filter-cake ケーキ) および粘土を砂土に施用し、サトウキビの増収について試験を行なったので報告する。

試験は1961年から64年にかけて、1区面積83m<sup>2</sup> (1.25m×9.5m×7畦) の4区制、2回にわたって行なったが、ケーキおよび粘土の施用は土性を砂土から沈泥

(Silt) または壤土に変え、組成が良好となり、特にケーキは肥料分も含有しているところからサトウキビの増収が目立った。すなわちそれらの施用はサトウキビの生育を促進し、枯死茎の発生をおさえる効果があった。収量をみると対照区でha当たり27.6t.であるのに比し、ケーキ、250t., 500t., 1,000t., 粘土250t., 500t., 1,000t. 施用区はそれぞれ41.26t. (収量指数160), 39.09t. (152), 54.46t. (212), 36.07t. (141), 33.19t. (130), 43.79t. (171) で効果は著しかった。また株出しでは対照区11.35t.に対しそれぞれ23.66t. (209), 23.54t. (208), 35.58t. (314), 20.00t. (156), 19.96t. (176), 27.87t. (247)であり、その効果は一段と高くなり、ケーキは特に優れていた。

(抄録 東 清二)